

鳥羽の海をみんなで楽しもう



6月13日、市営安楽島海水浴場で、船上から海中がのぞける透明なカヤックと、砂浜でも走行できる車いすを使って、地元の子どもたちと障がい者のかたたちが交流する「みんなで海をのぞき見隊!？」が行われました。

これは、鳥羽の自然の美しさを再確認し、海という自然を身近に感じてもらうと、社会福祉協議会、海島遊民くらぶ、NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが共同で企画したものです。

子どもたちは、障がい者のかたたちと一緒に船上から海中をのぞいたり、砂浜で車いすを押したり、試乗させてもらったりしながら、交流を深め、いつもと違った磯遊びを楽しみました。

大きくなって花を咲かせてね



5月30日、国崎町で町内会や老人会、婦人会のみなさんが、国崎漁港周辺と鎧崎にソメイヨシノの苗木100本を植えました。この苗木は、緑化活動の一環として三重トヨペットが毎年行っている「ふれあいグリーンキャンペーン」への応募で選ばれ、寄贈されたものです。

贈呈式が行われた後、記念植樹に参加した国崎小学校の子どもたちも、サクラが育ってきれいな花を咲かせることを祈りながら、苗木に土を掛けていました。

まちの話題 18号

音楽を通して親子でふれあい



親子のスキンシップを図りながら、音楽を通してリズムや運動を体験する「親子でリトミック体験」が、6月18日、保健福祉センターひだまりで行われました。

この日は、子育て応援!!0・1・2・3サークルの親子、約15組が参加して、先生のエレクトーンや手拍子に合わせて、楽しく体を動かしました。

参加したお母さんは「こどもがすごく楽しそうで、家にいるときとは全く違うはしゃぎようです」と話してくれました。

保健福祉センターひだまりでは、子育て支援の一環として、親子で楽しめるこのような教室が定期的に行われています。

きれいな海岸を目指して



きれいな伊勢志摩づくり連絡会議が、6月1日、市内の海岸4個所で漂着ごみの実態調査を行いました。

連絡会議のメンバーや地元の主婦など約40人が参加して、答志町の奈佐の浜、国崎町の松長の浜、浦村町の砥谷の浜と白浜で5メートル四方を囲い、その中にある漂着ごみを採集しました。

ごみは、プラスチックやびん、缶、漁具など4個所で計約36キロでした。

これらを細かく分別して記録し、今後の漂着ごみ削減対策に役立てていきます。